

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：建築&芸術学部 名前：前田 耕平 作成日：2024年12月3日

1. 教育の責任

大手前大学の教育目的である「豊かな教養と専門的学術、旺盛な自己開発精神、優れた国際感覚及び問題解決能力を備えた人材を育成し、地域の教育・研究及び生涯学習の中心として、地域社会・国際社会に貢献すること」に基づき、担当する建築&芸術学部の芸術コース立体造形担当として、作品制作の技術研鑽は元より、発想力や独創性を持ち能動的に制作を試みる思考を育てたいと考えます。また「Knowing（知識）、Doing（実践力）、Being（信念と志）」を身につけることを意識し、学生自身が作り出す作品が社会に接続することを学生自らが体感し発信していくことを目標とします。

■担当授業（2024年度時点）

春学期「アート体験」2単位 31名クラス 21名クラス

春学期「キャリアデザインⅠ」2単位 24名

秋学期「キャリアデザインⅡ」2単位 24名

春学期「立体造形基礎Ⅰ」2単位 7名

秋学期「立体造形基礎Ⅱ」2単位 12名

春学期「ゼミナールⅠ（建築&芸術学部）」2単位 6名

秋学期「ゼミナールⅡ（建築&芸術学部）」2単位 6名

春・秋学期「卒業制作（建築&芸術学部）」4単位 3名

2. 教育の理念

建築&芸術学部の芸術コース立体造形分野の学生は、多様な素材やメディアを使用して彫像、塑像等の基礎的な技術から物の成り立ちや見方を学びます。また制作物と空間の関係を考えながら展示実践を試みます。作品展示の想定をし、独自の思考を他者に共有できる能力の獲得を目指します。

3. 教育の方法

100番の基礎科目「アート体験」では主に1回生を主体とした授業を行っています。本大学では美術制作が未経験で入学する学生も少なくありません。その上で「アート」や「美術」といった言葉を広義に捉える試みを「アート体験」で実践しています。建築コースの教員と連携し授業を組み立て、建築と芸術コース各々の学生(他学部の学生も数名)が多様な視点でクロスオーバーを体現した制作に挑戦しています。学生たちには手に収まるものから、大きなものまで、頭の中だけではなく身体を動かす制作体験をします。「祝祭」をテーマに、神輿を作成し学内を練り歩くパフォーマンスを行いました。一人ではなく他者と協力することで、企画力やコミュニケーションスキルの向上を目指します。他者の表現や考え方を理解し、自分自身の表現に向き合う機会の創出を試みます。

200番の「立体造形基礎Ⅰ」では、「自画像」に関わる立体制作を行います。自分とは何か？人間とは何か？といった問いを与え、作品制作する上でコンセプトに向き合う体験をします。目に見える物や景色、世界をリサーチし自分だけの「自画像」を作り出します。

300番の「ゼミナールⅠ（建築&芸術学部）」では学生が最も興味のあるものを掘り下げていく時間を作っています。モチーフ、素材、表現方法まで、なぜ「それ」を選ぶのかを学生自身にしっかりと考えてもらいます。後半は学生主体で制作物の展示計画をし、学内で展示発表を行います。400番の「卒業制作（建築&芸術学部）」では学生の集大成として、3回生時より掘り下げてきたテーマを扱い、クオリティとスケールを大きくした作品に向けて時間をかけ制作します。同時に卒業制作展での発表の為、最も効果的に作品が生きる魅せ方、伝え方にこだわった展示方法を模索します。

4. 教育の成果

今年度は昨年から力を入れて行っている「アート体験」の実施に影響を受けた学生が、自主的に物作りを行うような傾向が見えてきました。全ての授業において講評会を実施しますが、学生は作品について言語化できるようになってきています。多様な美術の表現について

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：建築&芸術学部 名前：前田 耕平 作成日：2024年12月3日

学生自ら校外学習に出かけ知識を身につけているように見受けられます。受動的ではなくより能動的な学生が増えてきていると感じます。

5. 改善への努力と今後の目標

現状では立体造形分野では、授業内で扱える設備や造形用の素材が少ない。近年の間に徐々に表現が規定され、素材も減少した傾向にあるようです。その為、多様な表現への価値観や思想を持った教員が集まり「立体造形」を拡張していくことが今後の目標とされる。今年度は学生から3Dソフトを使い、3Dプリンタを使用したいという要望がありました。PCやデジタルソフトウェアを使用した制作プロセスも授業に導入できないか検討します。

【添付資料】

- 2024年度 担当授業 シラバス PDF 形式

開講年度	2024	開講学期	春学期	
科目コード	ZH0499	授業コード	40715	
科目名	アート体験		開講曜日・時限	木曜1限、木曜2限
担当教員名【代表】	前田 耕平			
担当教員				
授業形態	実技			
単位数	2単位			
メジャー名	該当メジャーは、入学年度の履修ガイドを確認すること。			

授業の目的	アートの面白さを体験し、幅広い創造力、造形力を高め社会生活や仕事に豊かさを育む基礎の一つとなることを目的とする
-------	---

授業の内容	
-------	--

①能力開発メソッド	想像力、創造力、企画力、チームワーク、造形力、空間構成員力、パフォーマンス力
-----------	--

②課題レポート等	各課題の制作イメージ図、製作図面、制作後レポート。
----------	---------------------------

③授業概要	<p>企画・構成から、様々なメディアを使用した作品制作の学習。</p> <p>1: 導入・自己紹介課題 2: 個人課題 立体制作 3: グループ課題(木工制作 ミクストメディア) 4: 鑑賞・講評</p>
-------	---

授業時間外学習	<p>各課題について考え、準備する。各課題のレポート提出。</p> <p>それぞれの生活の中で、また社会の中で豊かさを添えているアートなるものに目を向け、面白がり、考え、発見し或いは体験する。美術館、博物館、画廊等に行き美術作品に接し、幅広く知識を深めるとともに、美意識、審美眼を高め造形力を高める様努める。またほかのジャンルの芸術にも接し感性を高める様努める。※授業時間外学習欄には学習時間の目安を示している。</p>
---------	--

授業計画	
------	--

	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／能力	導入・授業紹介	<p>オリエンテーション</p> <p>課題の説明</p> <p>自己紹介課題 (自分自身を語るツールとして箱を作る。 自分を知るための演習 6面体の自分)</p>	授業時に終わらなかったレポートの制作。60分
02	知識／能力	自己紹介課題	<p>自分自身を語るツールとして箱を作る。 自分を知るための演習 6面体の自分</p>	授業で未完のものを仕上げる。60分
03	知識／能力	個人制作課題① 導入・説明・色決め	<p>段ボールを使用した立体物の制作 テーマ「色」</p> <p>各個人で5色(赤、青、黄、白、黒)の中から色を決めて、そこからイメージする立体物を制作する。</p>	次週の課題のアイデアを考える。60分
04	知識／能力	個人制作課題②	<p>段ボールを使用した立体物の制作 テーマ「色」</p> <p>各個人で5色(赤、青、黄、白、黒)の中から色を決めて、そこからイメージする立体物を制作する。</p>	課題のアイデアと制作。60分
05	知識／能力	個人制作課題③	<p>段ボールを使用した立体物の制作 テーマ「色」</p> <p>各個人で5色(赤、青、黄、白、黒)の中から色を決めて、そこからイメージする立体物を制作する。</p>	課題のアイデアと制作。60分
06	知識／能力	個人制作課題④ 塗装	<p>段ボールを使用した立体物の制作 テーマ「色」</p> <p>各個人で5色(赤、青、黄、白、黒)の中から色を決めて、そこからイメージする立体物を制作する。</p>	課題のアイデアの考える。60分
07	知識／能力	個人制作 合評	それぞれの制作した色の立体物を展示・鑑賞する。	提出できなかった際の鑑賞シートの制作。60分
08	知識／能力	グループ課題① 「大手前御柱」	各自のアイデアをラフスケッチにして、「御柱」の制作イメージを作る。それを基にグループ(村)それぞれのコンセプトや	アイデアシートの作成。60分

		グループで制作協力して「御柱(おんばしら)」を作る。 導入・説明 グループ(村)決定 企画構想	素材を決める。 御柱制作では「色」×「グループ(村)テーマ」によってイメージを設定し、「個人制作課題」と異素材の装飾を組み合わせ3m以上の柱を完成させる。 最終的に巡行パフォーマンスのためのコンセプトや準備物についても考えていく。 グループ(村)7名~8名×5グループ				
09	知識／能力	グループ課題② 「大手前御柱」	御柱の台座に「個人制作」で作った作品を載せるみる。各グループで課題と素材を模索する。	アイデアシートの作成。60分			
10	知識／能力	グループ課題③ 「大手前御柱」 ホームセンター実習 素材研究と購入	ホームセンターにてグループ(村)で決めた素材を購入する。	足らなかった材料を調達する。制作を遂行する。60分			
11	知識／能力	グループ課題④ 「大手前御柱」	グループ課題「御柱」 中間発表 制作	グループ制作内容の共有と制作 60分			
12	知識／能力	グループ課題⑤ 「大手前御柱」	グループ(村)でテーマに沿って制作を進める。	グループ制作 60分			
13	知識／能力	グループ課題⑥ 「大手前御柱」	テーマに沿って制作を進める。	グループ制作 60分			
14	知識／能力	グループ課題⑦ 「大手前御柱」 巡行パフォーマンスの準備	グループ(村)で制作した御柱を使って大学をどのように巡行するかシミュレーションを行う。サイズ、担ぎ方、音(囃し立て)、各人の役割、衣装など。	グループ制作と次回作品発表の準備 60分			
15	知識／能力	グループ課題⑧ 「大手前御柱」 巡行パフォーマンス 合評 解体(各自個人制作物持って帰る)、装飾物の片付け	グループ(村)で大学内を御柱を担ぎながら、巡行し練り歩く。パフォーマンスは5つの村で構成され、途中順路を別れながら、最終的に一つの場所に集合する。その後、作品のプレゼンテーションと講評会を行う。解体と片付け。	片付け 60分			
到達目標と学習成果							
①知識レベル		造形制作の基礎知識 材料と構造の基礎知識					
②能力レベル		立体物の認識、把握能力、共同制作力、作品制作の発想力、鑑賞能力					
C-PLATS(Level)到達基準							
コミュニケーション		プレゼンテーション	1	リーダーシップ		行動力	1
創造力	1	計画力	1	論理的思考力	1	分析力	
チームワーク力	1	社会的責任					
成績評価の基準と方法		A: 課題制作に熱心に取り組み、作品、レポートとも優れてる。 B: 熱心に取り組んではいるが、作品の完成度に工夫が必要 C: 制作態度に熱意が物足りなく、作品はできているが、アイデア、造形力も物足りない。 D: 取り敢えず作品は提出されているが、完成の域には達していない。					
教科書		教科書無し、適宜参考資料を配布又は提示、各自がネット、参考書で調べる。					
参考図書		各自が必要に応じて見つけ調べる。					
備考		実技実習費(材料費)について 2021年度以降の建築&芸術学部入学生および2021年度以降の建築&芸術学部編入生については、教育充実費に含まれているため、実技実習費(材料費)は徴収しません。 2020年度入学以前の建築&芸術学部学生および国際日本学部、現代社会学部、経営学部の学生は実技実習費を別途徴収します。詳細はel-Campusをご覧ください。					

開講年度	2024	開講学期	春学期	
科目コード	ZH0499	授業コード	40754	
科目名	アート体験		開講曜日・時限	木曜3限、木曜4限
担当教員名【代表】	前田 耕平			
担当教員				
授業形態	実技			
単位数	2単位			
メジャー名	該当メジャーは、入学年度の履修ガイドを確認すること。			

授業の目的	アートの面白さを体験し、幅広い創造力、造形力を高め社会生活や仕事に豊かさを育む基礎の一つとなることを目的とする
-------	---

授業の内容	
-------	--

①能力開発メソッド	想像力、創造力、企画力、チームワーク、造形力、空間構成員力、パフォーマンス力
-----------	--

②課題レポート等	各課題の制作イメージ図、製作図面、制作後レポート。
----------	---------------------------

③授業概要	<p>企画・構成から、様々なメディアを使用した作品制作の学習。</p> <p>1: 導入・自己紹介課題 2: 個人課題 立体制作 3: グループ課題(木工制作 ミクストメディア) 4: 鑑賞・講評</p>
-------	--

授業時間外学習	<p>各課題について考え、準備する。各課題のレポート提出。</p> <p>それぞれの生活の中で、また社会の中で豊かさを添えているアートなるものに目を向け、面白がり、考え、発見し或いは体験する。美術館、博物館、画廊等に行き美術作品に接し、幅広く知識を深めるとともに、美意識、審美眼を高め造形力を高める様努める。またほかのジャンルの芸術にも接し感性を高める様努める。※授業時間外学習欄には学習時間の目安を示している。</p>
---------	--

授業計画	
------	--

	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／能力	導入・授業紹介	<p>オリエンテーション</p> <p>課題の説明</p> <p>自己紹介課題 (自分自身を語るツールとして箱を作る。 自分を知るための演習 6面体の自分)</p>	授業時に終わらなかったレポートの制作。60分
02	知識／能力	自己紹介課題	<p>自分自身を語るツールとして箱を作る。 自分を知るための演習 6面体の自分</p>	授業で未完のものを仕上げる。60分
03	知識／能力	個人制作課題① 導入・説明・色決め	<p>段ボールを使用した立体物の制作 テーマ「色」</p> <p>各個人で5色(赤、青、黄、白、黒)の中から色を決めて、そこからイメージする立体物を制作する。</p>	次週の課題のアイデアを考える。60分
04	知識／能力	個人制作課題②	<p>段ボールを使用した立体物の制作 テーマ「色」</p> <p>各個人で5色(赤、青、黄、白、黒)の中から色を決めて、そこからイメージする立体物を制作する。</p>	課題のアイデアと制作。60分
05	知識／能力	個人制作課題③	<p>段ボールを使用した立体物の制作 テーマ「色」</p> <p>各個人で5色(赤、青、黄、白、黒)の中から色を決めて、そこからイメージする立体物を制作する。</p>	課題のアイデアと制作。60分
06	知識／能力	個人制作課題④ 塗装	<p>段ボールを使用した立体物の制作 テーマ「色」</p> <p>各個人で5色(赤、青、黄、白、黒)の中から色を決めて、そこからイメージする立体物を制作する。</p>	課題のアイデアの考える。60分
07	知識／能力	個人制作 合評	それぞれの制作した色の立体物を展示・鑑賞する。	提出できなかった際の鑑賞シートの制作。60分
08	知識／能力	グループ課題① 「大手前御柱」	各自のアイデアをラフスケッチにして、「御柱」の制作イメージを作る。それを基にグループ(村)それぞれのコンセプトや	アイデアシートの作成。60分

		グループで制作協力して「御柱(おんばしら)」を作る。 導入・説明 グループ(村)決定 企画構想	素材を決める。 御柱制作では「色」×「グループ(村)テーマ」によってイメージを設定し、「個人制作課題」と異素材の装飾を組み合わせ3m以上の柱を完成させる。 最終的に巡行パフォーマンスのためのコンセプトや準備物についても考えていく。 グループ(村)7名~8名×5グループ				
09	知識／能力	グループ課題② 「大手前御柱」	御柱の台座に「個人制作」で作った作品を載せるみる。各グループで課題と素材を模索する。	アイデアシートの作成。60分			
10	知識／能力	グループ課題③ 「大手前御柱」 ホームセンター実習 素材研究と購入	ホームセンターにてグループ(村)で決めた素材を購入する。	足らなかった材料を調達する。制作を遂行する。60分			
11	知識／能力	グループ課題④ 「大手前御柱」	グループ課題「御柱」 中間発表 制作	グループ制作内容の共有と制作 60分			
12	知識／能力	グループ課題⑤ 「大手前御柱」	グループ(村)でテーマに沿って制作を進める。	グループ制作 60分			
13	知識／能力	グループ課題⑥ 「大手前御柱」	テーマに沿って制作を進める。	グループ制作 60分			
14	知識／能力	グループ課題⑦ 「大手前御柱」 巡行パフォーマンスの準備	グループ(村)で制作した御柱を使って大学をどのように巡行するかシミュレーションを行う。サイズ、担ぎ方、音(囃し立て)、各人の役割、衣装など。	グループ制作と次回作品発表の準備 60分			
15	知識／能力	グループ課題⑧ 「大手前御柱」 巡行パフォーマンス 合評 解体(各自個人制作物持って帰る)、装飾物の片付け	グループ(村)で大学内を御柱を担ぎながら、巡行し練り歩く。パフォーマンスは5つの村で構成され、途中順路を別れながら、最終的に一つの場所に集合する。その後、作品のプレゼンテーションと講評会を行う。解体と片付け。	片付け 60分			
到達目標と学習成果							
①知識レベル		造形制作の基礎知識 材料と構造の基礎知識					
②能力レベル		立体物の認識、把握能力、共同制作力、作品制作の発想力、鑑賞能力					
C-PLATS(Level)到達基準							
コミュニケーション		プレゼンテーション	1	リーダーシップ		行動力	1
創造力	1	計画力	1	論理的思考力	1	分析力	
チームワーク力	1	社会的責任					
成績評価の基準と方法		A: 課題制作に熱心に取り組み、作品、レポートとも優れてる。 B: 熱心に取り組んではいるが、作品の完成度に一工夫が必要 C: 制作態度に熱意が物足りなく、作品はできているが、アイデア、造形力も物足りない。 D: 取り敢えず作品は提出されているが、完成の域には達していない。					
教科書		教科書無し、適宜参考資料を配布又は提示、各自がネット、参考書で調べる。					
参考図書		各自が必要に応じて見つけ調べる。					
備考		実技実習費(材料費)について 2021年度以降の建築&芸術学部入学生および2021年度以降の建築&芸術学部編入生については、教育充実費に含まれているため、実技実習費(材料費)は徴収しません。 2020年度入学以前の建築&芸術学部学生および国際日本学部、現代社会学部、経営学部の学生は実技実習費を別途徴収します。詳細はel-Campusをご覧ください。					

開講年度	2024	開講学期	春学期
科目コード	ZA0001	授業コード	40022
科目名	キャリアデザイン I	開講曜日・時限	水曜1限
担当教員名【代表】	前田 耕平		
担当教員			
授業形態	演習		
単位数	2単位		
メジャー名	-		

授業の目的	学習者が自身の将来に対する夢や希望を抱き、生涯に渡り必要となる生命力を醸成しつつ、自己調整学習が可能となるような自ら学ぼうとする姿勢を育むことを目的とする。また、本学の教育目的である社会人として活躍するために身につけるべき能力を育成し、自身のキャリアについて考えるために必要とされる、アカデミック・スキルズの基礎修得を目指す。
-------	---

授業の内容	
①能力開発メソッド	1)グループでの協働学習・ディスカッション 2)相互採点・相互評価 3)クリティカルシンキング・アカデミックライティング
②課題レポート等	1)各回の授業内容に関連したテーマによる課題 2)新聞記事の検索と要約 3)800字レポート
③授業概要	1)アクティブラーニングの手法によるグループワーク 2)テーマに基づく問いを立て、問いを明らかにするための文献収集と内容の要約文の作成 3)資料収集やライティングスキル修得などの協働学習 4)アカデミックライティングの手法による800字レポートの執筆 ※授業ではノートPCを活用するため、担当教員の指示に従って持参すること。
授業時間外学習	新聞記事データベースを用いて文献の検索と要約 800字レポートの執筆 レポート執筆に長けている他者からのレポートチェック ※毎回の課題は、それぞれ4時間程度を要するものとする。

授業計画				
	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／能力	キャリアデザインとは	・授業概要・目標・授業計画と評価方法(規準・基準)の説明 ・「キャリア」と大学4年間の学びについて ・PROGテストの結果振り返り ・各クラスでのガイダンス	授業内容に関連した課題
02	知識／能力	【全体会】 充実した学生生活のために	課外活動や学習サービス/ 学内施設の案内、学生課からのガイダンスなど	授業内容に関連した課題
03	知識／能力	コミュニケーションワーク①	クラスメイトと協働して取り組むアクティビティを通じて相互理解を深める	授業内容に関連した課題
04	知識／能力	コミュニケーションワーク②	個人の考えを伝え、それを聴くアクティビティを通じて他者への関心を深める	授業を通じて得た所感の小レポート作成
05	知識／能力	【全体会】 大手前大学での成長指針を理解する	成長の「モノサシ」を知り、自己評価する	小レポートの作成
06	知識／能力	リーディング①	新聞を読む理由 レポートテーマ予備調査	選んだテーマについて深く調べてみる

			レポートテーマ選択	
07	知識／能力	リーディング②	・新聞記事データベースへのアクセスと検索 ・新聞記事の保存、ファイル管理 ・文献情報の書き方 ・「レポートの書き方」動画による学習	テーマ別に新聞記事を指定するので、指定の記事を探して次回授業に持参する
08	知識／能力	リーディング③	・トピック・センテンス ・「レポートの書き方」動画による学習 ・新聞記事の各段落からトピック・センテンスを探し出す ・新聞記事を要約してみる ・新聞記事要約1本目の仕上げ	・新聞記事検索 ・新聞記事要約2本目
09	知識／能力	アカデミックライティング①	・ライティングのルール、段落のルール ・「レポートの書き方」動画による学習	・新聞記事検索 ・新聞記事要約3本目
10	知識／能力	アカデミックライティング②	・テーマと問いのチェック レポートの型 ・「レポートの書き方」動画による学習	800字レポート下書き、序論・本論・結論・参考文献リスト
11	知識／能力	アカデミックライティング③	ここまでのおまとめと振り返り	授業内容に関連した課題
12	知識／能力	アカデミックライティング④	・800字レポート下書き相互添削 ・「レポートの書き方」動画による学習	800字レポート完成
13	知識／能力	アカデミックライティング⑤	800字レポート完成版相互添削	800字レポートチューターチェック
14	知識／能力	コミュニケーションワーク③	文章表現を用いたアクティビティを通じてコミュニケーションスキルを醸成する	授業内容に関連した課題
15	知識／能力	* グランドリフレクション	リフレクションによる春学期のおまとめと振り返り	キャリアデザインシステムへの学年末振り返り入力

到達目標と学習成果

①知識レベル	1) 対人コミュニケーションスキルの基礎について理解することができる。 2) 「レポートの書き方」段落のルール、レポートにふさわしい文章表現に従ってレポート執筆できる 3) レポートの型「序論・本論・結論」の構造でレポートを仕上げることができる 4) 参考文献を正しく記載できる
②能力レベル	1) 対人コミュニケーション活動に参加することができる。 2) 正確かつ批判的に読むことができる。 3) 論理的に書くことができる。

C-PLATS (Level)到達基準

コミュニケーション	1	プレゼンテーション	1	リーダーシップ	1	行動力	1
創造力	1	計画力	1	論理的思考力	1	分析力	1
チームワーク力	1	社会的責任	1				

成績評価の基準と方法	<p>到達目標と学習成果について、以下の到達水準による目標準拠評価とする。</p> <p>【F評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題提出ができていない。 ・日本語文法・表現についての理解が不足しており、文献・資料を収集し、分析することができない。また、小論文やレポート執筆に必要な知識も獲得できておらず、教員等の助けを得ても文章の作成ができない。 ・レポートに剽窃・盗用(コピー&ペースト)が見られる。 ・文献・資料を用いたテーマレポートが完成していない。 ・学修サポートセンターによるレポートチェックを受けていない。 <p>【D評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に対して参加の姿勢がみられる。 ・課題提出が適っている。
------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語文法・表現についての理解がやや不十分だが、文献・資料を収集し、簡単な分析をすることはできる。また、小論文やレポート執筆に必要最低限の知識があり、独力では困難だが、教員等の助けがあれば小論文やレポートの作成が可能である。 ・文献・資料を用いてテーマレポートを執筆し、完成させている。 ・レポート執筆に長けている他者からレポートチェックを受け、改善を遂げている。 ・学習スケジュール管理ができており、期限を目指した学習ができています。 ・学習の記録を残し、振り返りが行われている。 <p>【C評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的な学びのスタイルになっており、聴き合い、話し合いができています。 ・日本語文法・表現について最低限理解したうえで、自らにとって必要となる文献・資料の収集ができ、簡単な分析が可能である。また、小論文やレポート執筆に必要最低限知識があり、独力で小論文やレポートの作成が可能である。 ・レポート執筆に長けている他者からの指摘を受け、「レポートの書き方」を満たすレポートを仕上げる事ができています。 ・授業や学習の内容だけではなく、自分自身を認知する振り返りができています。 <p>【B評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見に対して客観性を持った自己の発言が適っている。 ・日本語文法・表現について理解したうえで、自らにとって必要となる文献・資料の収集・精読・分析が可能である。また、小論文やレポート執筆に必要な知識も獲得し、それに基づいて小論文やレポートの作成が可能である。 ・仲間からの指摘やアドバイスなど、仲間力を借りながら「レポートの書き方」を満たすレポートを仕上げる事ができている。 ・学習活動や学習成果の違いに応じた多様な振り返りができている。 <p>【A評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループやクラス全体に影響を及ぼし、他者の学びに貢献できている。 ・日本語文法・表現について広くかつ正しく理解したうえで、自らにとって必要となる文献・資料を収集し、精度の高い分析が可能である。また、小論文やレポート執筆に必要な知識も十分に獲得し、それに基づいて完成度の高い小論文やレポートが作成できる。 ・自力で「レポートの書き方」を満たすレポートを仕上げる事ができている。 ・十分な振り返りができている。
教科書	レポートの書き方
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤望・湯川武・横山千晶・近藤明彦編著『アカデミック・スキルズ-大学生のための知的技法入門第2版-』慶應義塾大学出版会 2013 ・山田剛史・林創『大学生のためのリサーチリテラシー入門-研究のための8つの力-』ミネルヴァ書房 2011 ・石上浩美・中島由佳編著『キャリア・プランニング-大学生の基礎的な学びのために』ナカニシヤ出版 2016
備考	<p>「キャリアデザインⅠ」の単位を修得しなければ、「キャリアデザインⅡ」を履修できない。</p> <p>(「キャリアデザインⅠ～Ⅳ」「ゼミナールⅠ・Ⅱ」「卒業研究/卒業制作」は、4年間にわたる必修科目として、到達レベルにより順序性をもった履修を必要とするため。)</p>

開講年度	2024	開講学期	秋学期
科目コード	ZA0002	授業コード	45028
科目名	キャリアデザインⅡ	開講曜日・時限	水曜1限
担当教員名【代表】	前田 耕平		
担当教員	吉川 正剛, 東條 伸一郎		
授業形態	演習		
単位数	2単位		
メジャー名	-		

授業の目的	<p>今後の学生生活の計画や卒業後の進路に関するキャリアデザインを行う。</p> <p>そのために、1)職業世界やキャリア形成に関する基本的な理解を行い、2)1年間の学びや成長の振り返りを通じて自身の強みを理解する。</p> <p>以上の結果は、グループ内でのプレゼンテーションおよび自己紹介エッセイにまとめられ、他の学生や教員からのフィードバックを得る。このプロセスを通じて、聞き取り(インタビュー)、レポート作成、リフレクション、プレゼンテーション、他者へのフィードバックといったスキルも伸ばす。</p>
-------	--

授業の内容	
①能力開発メソッド	<ol style="list-style-type: none"> 1) 職業世界の基本的知識についての講義。 2) キャリアインタビュー・ワークショップ。 3) 身近な社会人経験者を対象とした個別インタビュー。 4) 1年間の学びや成長に関する振り返り。 5) 4)で得られた気づきを各自まとめ、クラスのグループ内でプレゼンテーションする。 6) 他の学生や教員との対話やディスカッション。 7) 自己紹介エッセイの作成。
②課題レポート等	<ol style="list-style-type: none"> 1) 各回の授業内容に関連したテーマによる課題。 2) キャリアインタビューワークショップのレポート作成。 3) 社会人経験者を対象とした個別インタビューと実施後のレポート作成。 4) クラス(グループ)内プレゼンテーションの資料作成 5) 自己紹介エッセイの作成。
③授業概要	<p>キャリアデザインに必要な講義を受ける。</p> <p>2)インタビューワークショップ、グループでのディスカッションなどを通し、自身のキャリアデザインを行う。</p> <p>3)自己紹介エッセイの作成を行う。</p> <p>※授業ではノートPCを活用するため、担当教員の指示に従って持参すること。</p>
授業時間外学習	<p>予習・復習、課題提出が単位修得のための条件となるため、一定の授業時間外学習活動が必要である。</p> <p>※毎回の課題は、それぞれ4時間程度を要するものとする。</p>

授業計画				
	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／能力	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリアデザインの意義 ・ 授業の目標と計画、評価方法 ・ クラスごとのガイダンス 	授業内容に関連した課題
02	知識／能力	【全体会】 職業世界の理解Ⅰ-①	<p>社会・経済の仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> * 産業構造とその変化 * 業種(業界)とは？ * ビジネス(供給者)と生活(消費者) など 	授業内容に関連した課題
03	知識／能力	【全体会】 職業世界の理解Ⅰ-②	<p>企業と多様な働き方</p> <ul style="list-style-type: none"> * 企業の仕組み * 職種・雇用形態 	授業内容に関連した課題

			* 企業内キャリア * WLB、ダイバーシティ など	
04	知識／能力	【全体会】 職業世界の理解 I-③	職業世界の光と影 * 労働に関する法・倫理 * メンタルヘルス・ケア * ハラスメント など	授業内容に関連した課題
05	知識／能力	キャリアインタビュー・ワークショップの準備	・第6回「キャリアインタビュー・ワークショップ」に向けた準備を行う。 * グループに分かれて、ゲストに対する質問項目を考える。	授業内容に関連した課題
06	知識／能力	【全体会】 キャリアインタビュー・ワークショップ	・ゲストにキャリアインタビューを行う。 * 複数のゲストに対して、グループで事前に考えた質問を投げかけ対話。	キャリア・インタビューワークシート(御礼状)
07	知識／能力	個別インタビューの準備①	インタビューワークショップの振返 ・インタビューマナー(アポイントメントの取り方、個人情報の保護/倫理上のマナー、インタビューデータの保管方法)について学ぶ ・インタビュー対象者の選定	インタビュー対象者の選定
08	知識／能力	個別インタビューの準備②	・インタビューの問いを立てる ・インタビューアウトラインの作成 ・インタビューの練習	個別インタビューワークシート
09	知識／能力	自己紹介エッセイの作成	・自己紹介エッセイの作り方	自己紹介エッセイの作成 (締切①: 第11回) (締切②: 第15回)
10	知識／能力	個別インタビュー振返り	・個別インタビューの振返り	授業内容に関連した課題
11	知識／能力	自己理解 (プレゼン準備)①	1年間の振返りと強み(Can)の理解 * 学生生活の振り返り	授業内容に関連した課題
12	知識／能力	自己理解 (プレゼン準備)②	・前回をふまえて今後の学生生活および卒業後の目標について考える ・プレゼンのアウトライン作成	プレゼン資料の作成 (締切: 第13回)
13	知識／能力	他者へのフィードバック コース選択について	・グループ内で行う個人のプレゼンに対するフィードバックの心構えや方法を学ぶ(ピア・リフレクション)	プレゼン資料の作成 (締切: 第13回)
14	知識／能力	グループ内プレゼンテーション(共有と対話)	「1年間の学び・成長と今後の目標」 ・4人1チーム ・発表3分+メンバー(聞き手)によるフィードバックとディスカッション7分=計10分 × 4人	発表者・観察者それぞれの立場からの気づきについてレポート作成 (締切: 第15回)
15	知識／能力	グランド・リフレクション	秋学期および1年間の学び全体に関する振り返り	キャリアデザインシステムへの振り返り入力 (行動目標、アピール)

到達目標と学習成果

①知識レベル	1) 職業世界についての基本的な情報を理解できる。 2) インタビューについての基礎知識やマナーについて理解できる。 3) レポート作成やプレゼンテーションを行う基礎的知識を理解できる。
②能力レベル	1) 自分なりのテーマや問いを設定して他者に質問することができる。 2) インタビューから得られた情報を整理・考察し、レポートにまとめることができる。 3) 自己理解の結果をエッセイやプレゼンテーションとして表現することができる。 4) 2年次以降の自己開発や学修のために計画を立てることができる。 5) 他者の発表に対して適確なフィードバックをすることができる。

C-PLATS(Level)到達基準

コミュニケーション	1	プレゼンテーション	1	リーダーシップ	1	行動力	2
創造力	1	計画力	1	論理的思考力	1	分析力	1

チームワーク力	1	社会的責任	1
成績評価の基準と方法	<p>① 各回の授業への姿勢・取組み方【50%】 毎回の授業に対して真面目に取組み、積極的な発言などを通してクラスに貢献できているか。</p> <p>② 個別インタビューのワークシート【10%】 身近な人物へのインタビューから自分自身へのキャリア形成に対する気づきを得ているか。</p> <p>③ 自己紹介エッセイ【20%】単位修得必須条件 自身のこれまでの経験を基にして、興味や強みを文章化できているか(800文字以上)。</p> <p>④ グランド・リフレクション【10%】 各回の授業後に振り返り(リフレクション)を行い、それをふまえた学期末のグランド・リフレクションを行っているか。</p> <p>⑤ その他の課題実施状況【10%】 教員の指示にしたがって、それぞれの課題を的確に実施できているか。</p>		
教科書	特になし		
参考図書	適宜紹介する		
備考	<p>「キャリアデザインⅡ」の単位を修得しなければ、「キャリアデザインⅢ」を履修できない。 (「キャリアデザインⅠ～Ⅳ」「ゼミナールⅠ～Ⅱ」「卒業研究/卒業制作」は、4年間にわたる必修科目として、到達レベルにより順序性をもった履修を必要とするため。)</p>		

開講年度	2024	開講学期	春学期
科目コード	ZH0204	授業コード	40359
科目名	立体造形基礎 I	開講曜日・時限	金曜1限、金曜2限
担当教員名【代表】	前田 耕平		
担当教員			
授業形態	実技		
単位数	2単位		
メジャー名	該当メジャーは、入学年度の履修ガイドを確認すること。		

授業の目的	等身大の自分を作ることから人体の形を把握し、その仕組みと構造を認識する。2次元(平面素材)の素材より3次元(立体造形)の表現方法を学ぶ。創造力を高める。
授業の内容	
①能力開発メソッド	分析と積極的な行動、計画によって創造力を育む。合評で考えたことをプレゼンする。
②課題レポート等	分析内容や最終プレゼンを文章にまとめる。
③授業概要	段ボールを使って等身大の自分を制作。平面素材の段ボールを立体構成し、デフォルメ、抽象的な表現を模索、自立する全身像を完成する。
授業時間外学習	作品イメージを明確にするためにラフスケッチを繰り返す。

授業計画				
	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／能力	知識:形と構造 能力:創造力を養う	導入、課題、日程等の説明。視覚に頼らない触覚優先の制作により空想力、創造力の向上。石粉粘土で造形トレーニング。視覚を覆い触覚優先で人の形を作る。	鉛筆で自画像素描。60分
02	知識／能力	知識:形と構造 能力:観察力を養う	自分自身の体の形、寸法を調べて制作の参考にする。全身像のスケッチ。	鉛筆で自分の全身像素描。60分
03	知識／能力	知識:形と構造 能力:計画力を養う	厚紙を使って10分の1の雛形を作る。	人体の実物、画像、写真から観察しておく。60分
04	知識／能力	知識:形と構造 能力:計画力を養う	厚紙の雛形を完成する。	厚紙の雛形の制作。60分
05	知識／能力	能力:創造力、技術力	厚紙の雛形を元に段ボールで制作する。	制作の計画を立てる。60分
06	知識／能力	能力:創造力、技術力	厚紙を元に段ボールの下書きをする。	道具の使い方を確認して調べておく。60分
07	知識／能力	能力:創造力、技術力	段ボールの下書きを元に切断する。	スケッチ。完成予想図。60分
08	知識／能力	能力:創造力、技術力	組み立て方の確認、制作する。	接合、接着の方法を考える。60分
09	知識／能力	能力:創造力、技術力	接合方法を考慮、部品の接合を行う。	着色、異素材の組み入れを考案。60分
10	知識／能力	能力:創造力、技術力	木材、自然石、人工物、装飾品等の異素材を作品に組み込むことを発想してみる。	異素材のアイデアを考えておく。60分
11	知識／能力	能力:創造力、技術力	異素材との接続、構成。	作品の構成を考える。60分
12	知識／能力	能力:創造力、技術力	着色、制作する。	色付けの練習、準備をする。60分

13	知識／ 能力	能力:創造力、技術力	作品の細部を整え、色付けを行う。	プレゼン内容を考えておく。60分			
14	知識／ 能力	能力:創造力、技術力	作品仕上げ。プレゼン内容の確認。	作品完成。プレゼン内容を考え文章にする。60分			
15	知識／ 能力	能力:比較分析力を高める	完成作品による合評。	プレゼンと課題制作。60分			
到達目標と学習成果							
①知識レベル		ものの形を立体的に認識、分析できる。					
②能力レベル		認識、分析から新たな創造へ発展できる。					
C-PLATS(Level)到達基準							
コミュニケーション		プレゼンテーション	1	リーダーシップ		行動力	1
創造力	3	計画力	1	論理的思考力		分析力	2
チームワーク力		社会的責任					
成績評価の基準と方法	<p>課題提出物80%、制作への取り組み状況10%、合評での発表内容10%。評価は60%以上でD、70%以上でC、80%以上でB、90%以上でAとする。</p> <p>D評価、作品は提出されているが完成の域に達していない。</p> <p>C評価、完成の域に達しているがオリジナリティまたは表現の工夫がない。</p> <p>B評価、完成度が高くオリジナリティと表現の工夫がある。</p> <p>A評価、熱心に取り組み完成度が特に高くオリジナリティと表現の工夫がある。またコンセプト説明に説得力がある。</p>						
教科書	必要とあらば適宜、技法書等を法令遵守の範囲内でコピーし配布する。						
参考図書	図書館で検索すること。						
備考	<p>実技実習費(材料費)について</p> <p>2021年度以降の建築&芸術学部入学生、及び編入生、又2021年以降の建築&芸術学部への転部生については、教育充実費に含まれているため、実技実習費(材料費)は徴収しません。</p> <p>2020年度入学以前の建築&芸術学部学生、及び国際日本学部、現代社会学部、経営学部の学生は実技実習費を別途徴収します。詳細はel-Campusをご覧ください。</p>						

開講年度	2024	開講学期	秋学期
科目コード	ZH0205	授業コード	45313
科目名	立体造形基礎Ⅱ	開講曜日・時限	金曜1限、金曜2限
担当教員名【代表】	前田 耕平		
担当教員			
授業形態	実技		
単位数	2単位		
メジャー名	該当メジャーは、入学年度の履修ガイドを確認すること。		

授業の目的	ジオラマ(幻視画)とマケット彫刻作品(模型)の制作により、空間構成する力をつける。創造力を高める。立体造形の制作技術を身につける。
-------	---

授業の内容

①能力開発メソッド	分析と積極的な行動、計画によって創造力を育む。合評で考えたことをプレゼンする。
②課題レポート等	分析内容や最終プレゼンを文章にまとめる。
③授業概要	既知の場所、或いは任意の場所や空間を450×450×450mmサイズのジオラマで表現し、そのジオラマ空間に相応しい彫刻作品(ミニチュア)、ストリートファニチャーを考え設置する。
授業時間外学習	作品イメージを明確にするためにラフスケッチを繰り返す。ジオラマについて調べる。マケット(彫刻模型)について調べる。

授業計画

	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／ 能力	知識:形と構造 能力:創造力を養う	導入、課題、日程等の説明。ジオラマの作品、マケット作品、素材と制作方法、作例紹介。	ジオラマについて調べておく。60分
02	知識／ 能力	知識:形と構造 能力:創造力を養う	スチレンボードの加工、作品のサイズを決める。	ジオラマにする風景テーマを考える。60分
03	知識／ 能力	知識:形と構造 能力:計画力を養う	ジオラマの風景を模索する。スケッチ。	ジオラマに使用する立体物の素材を調べる。60分
04	知識／ 能力	知識:形と構造 能力:計画力を養う	スケッチに従ってジオラマ制作。粘土、木材、スチレンボード等の材料。	立体造形の素材を調べる。60分
05	知識／ 能力	能力:創造力、技術力	ジオラマの制作。中に設置する彫刻作品(模型)を考える。スケッチ。	模型のスケッチ。60分
06	知識／ 能力	能力:創造力、技術力	ジオラマと模型の制作。スケッチ。	模型の制作。60分
07	知識／ 能力	能力:創造力、技術力	ジオラマの完成を目指す。模型の制作。	スケッチ。完成予想図。60分
08	知識／ 能力	能力:創造力、技術力	模型をジオラマに設置。	スケッチで立体構成の模索。60分
09	知識／ 能力	能力:創造力、技術力	模型の配置等の調整。制作。	素材の組み入れを考案。60分
10	知識／ 能力	能力:創造力、技術力	模型とジオラマの制作。スケール、バランスを確認する。	配色を考える。60分
11	知識／ 能力	能力:創造力、技術力	素材の構成と配置、模型とジオラマ制作。着色。	作品の構成を考える。60分
12	知識／ 能力	能力:創造力、技術力	着色、構成、制作する。	制作。60分

13	知識／ 能力	能力:創造力、技術力	作品の細部を整え、色付けを行う。	プレゼン内容を考えておく。60分			
14	知識／ 能力	能力:創造力、技術力	作品仕上げ。プレゼン内容の確認。	作品完成。プレゼン内容を考え文章にする。 60分			
15	知識／ 能力	能力:作品の言語化	完成作品による合評。	プレゼンと課題発表。60分			
到達目標と学習成果							
①知識レベル		ものの形を立体的に認識、分析できる。立体作品を言語化する。					
②能力レベル		認識、分析から新たな創造へ発展できる。立体造形の加工技術を身につけることができる。					
C-PLATS(Level)到達基準							
コミュニケーション		プレゼンテーション	1	リーダーシップ		行動力	1
創造力	3	計画力	2	論理的思考力		分析力	1
チームワーク力		社会的責任					
成績評価の基準と方法	<p>課題提出物80%、制作への取り組み状況10%、合評での発表内容10%。評価は60%以上でD、70%以上でC、80%以上でB、90%以上でAとする。</p> <p>D評価、作品は提出されているが完成の域に達していない。</p> <p>C評価、完成の域に達しているがオリジナリティまたは表現の工夫がない。</p> <p>B評価、完成度が高くオリジナリティと表現の工夫がある。</p> <p>A評価、熱心に取り組み完成度が特に高くオリジナリティと表現の工夫がある。またコンセプト説明に説得力がある。</p>						
教科書	必要とあらば適宜、技法書等を法令遵守の範囲内でコピーし配布する。						
参考図書	図書館で検索すること。						
備考	<p>実技実習費(材料費)について</p> <p>2021年度以降の建築&芸術学部入学生、及び編入生、又2021年以降の建築&芸術学部への転部生については、教育充実費に含まれているため、実技実習費(材料費)は徴収しません。</p> <p>2020年度入学以前の建築&芸術学部学生、及び国際日本学部、現代社会学部、経営学部の学生は実技実習費を別途徴収します。詳細はel-Campusをご覧ください。</p>						

開講年度	2024	開講学期	春学期	
科目コード	ZH0801	授業コード	40475	
科目名	ゼミナール I (建築 & 芸術学部)		開講曜日・時限	金曜5限
担当教員名【代表】	前田 耕平			
担当教員				
授業形態	演習			
単位数	2単位			
メジャー名	-			

授業の目的	4回生の「卒業制作・研究」に向け、素材、制作方法、コンセプトの研究・調査を行う。最終的にゼミナールの学生で展示形式の発表を学内で行う。
授業の内容	
①能力開発メソッド	自身の研究テーマを決め、作品制作の思考力を深める。展示計画・発表能力
②課題レポート等	グループの行動計画書、企画書、報告書等
③授業概要	本授業ではデザイン・美術造形コースで学んだ知識の応用表現をメインとする。自身の然るべき方法と論理で作品と表現能力を高める。また制作物を展示発表できる工程を体験しながら、実証(プレゼンテーション)することを必須とします。
授業時間外学習	グループで計画を立てる。学内での許可や申請まで学生主体で行う。また報告書などを作成し提出すること。また教育ボランティアの前でプレゼンテーションし、質疑応答を行います。

授業計画				
	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／能力	自己紹介。研究テーマの模索。	オリエンテーション	世の中への表現に関係する作家、場所を調べる。
02	知識／能力	能力:個別調査、行動力	「表現」に関するプレゼンテーション	次週に向け報告書の作成
03	知識／能力	能力:プレゼン	プレゼンテーション続き	今後の計画をまとめておく
04	知識／能力	個人研究	方向性の決定	今後の計画をまとめておく
05	知識／能力	個人研究	詳しく調査するための会議	授業までに企画書の作成
06	知識／能力	個人研究	個人研究	授業までに企画書の作成
07	知識／能力	研究中間発表	個人研究調査結果発表	発表の練習を個人またはグループで取り組む
08	知識／能力	能力:創作力	決定した方向の制作開始	これ以降、進捗状況によっては授業外に制作する場合がある。
09	知識／能力	能力:創作力	制作(2)	制作の遅れを取り戻すために、空き時間を使って各自制作を進める(時間の目安として1時間程度、以下同様)
10	知識／能力	能力:創作力	制作(3)	制作の遅れを取り戻すために、空き時間を使って各自制作を進める。
11	知識／能力	能力:創作力	制作(4)	制作の遅れを取り戻すために、空き時間を使って各自制作を進める。
12	知識／能力	能力:創作力	制作(5)	制作の遅れを取り戻すために、空き時間を使って各自制作を進める。

13	知識／ 能力	能力:創作力	制作(6)	制作の遅れを取り戻すために、空き時間を使って各自制作を進める。			
14	知識／ 能力	展示・発表	制作展示	展示に足りなかったものを用意する。準備・補強			
15	知識／ 能力	合評・片付け	合評、半期のまとめ、成果発表会、授業アンケート、片付け	作品の提出			
到達目標と学習成果							
①知識レベル		制作方法の模索、素材研究、テーマ研究・調査。展示計画、発表の方法					
②能力レベル		プレゼンやミーティング等に生かすことができる。社会人や企業、クライアントと交渉し、企画を立てて提案することができる。					
C-PLATS(Level)到達基準							
コミュニケーション	2	プレゼンテーション	2	リーダーシップ	2	行動力	3
創造力	2	計画力	2	論理的思考力	2	分析力	2
チームワーク力	2	社会的責任	2				
成績評価の基準と方法	<p>プロジェクト達成度80%、取り組み姿勢とレポート、資料、スケッチ等10%、学期末の報告でのプレゼンを10%で評価する。評価基準は数値化(点数化)の上、60点以上をD,70点以上をC、80点以上をB,90点以上をAとする。グループ活動の場合も個々の貢献度と提出物で採点する。</p> <p>D評価・プロジェクトの達成度が低く、提出物が出されているが完成の域に達していない。</p> <p>C評価・プロジェクトは行ったが成果が充分とは判断できず、提出物は完成の域に達しているがオリジナリティがない。</p> <p>B評価・プロジェクトの達成度が高く、オリジナリティがある。</p> <p>A評価・熱心に取り組み、プロジェクトの達成度が特に高く、オリジナリティがある。また学期末のプレゼンに説得力がある。</p>						
教科書	なし						
参考図書	適宜紹介						
備考	費用が発生する場合は、話し合って負担しあう場合がある。						

開講年度	2024	開講学期	秋学期
科目コード	ZH0802	授業コード	45430
科目名	ゼミナールⅡ（建築&芸術学部）	開講曜日・時限	金曜5限
担当教員名【代表】	前田 耕平		
担当教員			
授業形態	演習		
単位数	2単位		
メジャー名	-		

授業の目的	4回生の「卒業制作・研究」に向け、素材、制作方法、コンセプトの研究・調査を行う。春学期に行なった研究・発表をさらにブラッシュアップし、最終的にゼミナールの学生で展示形式の発表を学内で行う。
授業の内容	
①能力開発メソッド	自身の研究テーマを決め、作品制作の思考力を深める。展示計画・発表能力
②課題レポート等	グループの行動計画書、企画書、報告書等
③授業概要	本授業ではデザイン・美術造形コースで学んだ知識の応用表現をメインとする。自身の然るべき方法と論理で作品と表現能力を高める。また制作物を展示発表できる工程を体験しながら、実証（プレゼンテーション）することを必須とします。
授業時間外学習	グループで計画を立てる。学内での許可や申請まで学生主体で行う。また報告書などを作成し提出すること。また教育ボランティアの前でプレゼンテーションし、質疑応答を行います。

授業計画				
	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／能力	自己紹介。研究テーマの模索。	オリエンテーション	世の中への表現に関係する作家、場所を調べる。60分
02	知識／能力	能力:創作力	制作	次週に向け報告書の作成 60分
03	知識／能力	能力:創作力	制作	今後の計画をまとめておく 60分
04	知識／能力	能力:創作力	制作	今後の計画をまとめておく 60分
05	知識／能力	能力:創作力	制作	授業までに企画書の作成 60分
06	知識／能力	能力:創作力	制作	授業までに企画書の作成 60分
07	知識／能力	研究制作・中間発表	個人研究・制作中間発表	発表の練習を個人またはグループで取り組む 60分
08	知識／能力	能力:創作力	制作	これ以降、進捗状況によっては授業外に制作する場合がある。60分
09	知識／能力	能力:創作力	制作	制作の遅れを取り戻すために、空き時間を使って各自制作を進める(時間の目安として1時間程度、以下同様)60分
10	知識／能力	能力:創作力	制作	制作の遅れを取り戻すために、空き時間を使って各自制作を進める。60分
11	知識／能力	能力:創作力	制作	制作の遅れを取り戻すために、空き時間を使って各自制作を進める。60分
12	知識／能力	能力:創作力	制作	制作の遅れを取り戻すために、空き時間を使って各自制作を進める。60分

13	知識／ 能力	能力:創作力	制作	制作の遅れを取り戻すために、空き時間を使って各自制作を進める。60分			
14	知識／ 能力	展示・発表	制作展示	展示に足りなかったものを用意する。準備・補強 60分			
15	知識／ 能力	合評・片付け	合評、半期のまとめ、成果発表会、授業アンケート、片付け	片付け等 60分			
到達目標と学習成果							
①知識レベル		制作方法の模索、素材研究、テーマ研究・調査。展示計画、発表の方法					
②能力レベル		レゼンやミーティング等に生かすことができる。社会人や企業、クライアントと交渉し、企画を立てて提案することができる。					
C-PLATS(Level)到達基準							
コミュニケーション	2	プレゼンテーション	2	リーダーシップ	2	行動力	3
創造力	2	計画力	2	論理的思考力	2	分析力	2
チームワーク力	2	社会的責任	2				
成績評価の基準と方法	<p>プロジェクト達成度80%、取り組み姿勢とレポート、資料、スケッチ等10%、学期末の報告でのプレゼンを10%で評価する。評価基準は数値化(点数化)の上、60点以上をD,70点以上をC、80点以上をB,90点以上をAとする。グループ活動の場合も個々の貢献度と提出物で採点する。</p> <p>D評価・プロジェクトの達成度が低く、提出物が出されているが完成の域に達していない。</p> <p>C評価・プロジェクトは行ったが成果が充分とは判断できず、提出物は完成の域に達しているがオリジナリティがない。</p> <p>B評価・プロジェクトの達成度が高く、オリジナリティがある。</p> <p>A評価・熱心に取り組み、プロジェクトの達成度が特に高く、オリジナリティがある。また学期末のプレゼンに説得力がある。</p>						
教科書	なし						
参考図書	適宜紹介						
備考	費用が発生する場合は、話し合っって負担しあう場合がある。						

開講年度	2024	開講学期	春学期
科目コード	ZH0807	授業コード	40496
科目名	卒業制作（建築&芸術学部）	開講曜日・時限	春学期（金曜3限、金曜4限）秋学期（金曜3限、金曜4限）
担当教員名【代表】	前田 耕平		
担当教員			
授業形態	演習		
単位数	4単位		
メジャー名	-		

授業の目的	4年間で培われた知識と技術を生かし、集大成としての企画、制作、研究を行う。最終段階では卒業制作展で発表する。ゼミナールの延長線として更に研究を深め企画を進めるのも良い。または新たに制作または研究を始めても良い。
-------	---

授業の内容	
-------	--

①能力開発メソッド	半期ごとの計画書作成する。企画書、報告書、研究レポート作品の展示発表等
-----------	-------------------------------------

②課題レポート等	作品のコンセプト案,イベントの企画書,報告書,その他研究レポート等
----------	-----------------------------------

③授業概要	<p>■授業実施方法:対面</p> <p>4年間の集大成として制作したいもの、研究し深めてきたものを一つに絞り自分の研究テーマに基づいた政策を行う。一年間かけて取り組む。プレゼンと卒業制作展で発表する。</p>
-------	---

授業時間外学習	<p>立体の制作や研究には時間が掛かるので、授業時間以外の使用できる時間帯とスペースを確保して積極的に制作や研究を進めること。</p> <p>卒業制作展の自作の前でプレゼンを行う。</p>
---------	--

授業計画	
------	--

	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／能力	知識:企画書またはコンセプト案の応用力	オリエンテーション(年間)	次週までにコンセプト案または研究概要を提出
02	知識／能力	知識:企画書またはコンセプト案の応用力	個別面接	次週までに素材および技法の確認または研究方法の計画書を準備
03	知識／能力	能力:スケジュール管理と計画力	個別面接	制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること(時間的目安として2時間程度、以下同様)
04	知識／能力	能力:創作力	制作・研究(1)	制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
05	知識／能力	能力:創作力	制作・研究(2)	制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
06	知識／能力	能力:創作力	制作・研究(3)	制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
07	知識／能力	能力:創作力	制作・研究(4)	制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
08	知識／能力	能力:創作力	制作・研究(5)	制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
09	知識／能力	能力:創作力	制作・研究(6)	制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。

10	知識／ 能力	能力:創作力	制作・研究(7)	制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
11	知識／ 能力	能力:創作力	制作・研究(8)	制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
12	知識／ 能力	能力:創作力	制作・研究(9)	制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
13	知識／ 能力	能力:創作力	制作・研究(10)	制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
14	知識／ 能力	能力:創作力	制作・研究(11)	制作の進行状況が遅い場合、次週までの空き時間に制作すること。
15	知識／ 能力	能力:創作力	中間合評。授業アンケート	春学期振り返りシートの提出

到達目標と学習成果

①知識レベル	造形作品の言語化ができる。企画書またはコンセプト案、研究成果を論理的に作成できる。
②能力レベル	創作力を発揮し、自分の思い描いた世界が構築できる。研究分析を深め論理的構造を明確にすることができる。

C-PLATS(Level)到達基準

コミュニケーション		プレゼンテーション	3	リーダーシップ		行動力	3
創造力	3	計画力	3	論理的思考力	2	分析力	2
チームワーク力		社会的責任	3				

成績評価の基準と方法	<p>作品提出物80%、課題への取り組み姿勢とレポート、資料、スケッチ等10%、合評とプレゼン10%で評価する。評価基準は数値化(点数化)の上、60点以上をD,70点以上をC、80点以上をB,90点以上をAとする。</p> <p>D評価・作品は提出されているが完成の域に達していない。</p> <p>C評価・完成の域に達しているがオリジナリティまたは表現の工夫がない。</p> <p>B評価・完成度が高く、オリジナリティと表現の工夫がある。</p> <p>A評価・熱心に取り組む、完成度が特に高く、オリジナリティと表現の工夫がある。またコンセプト説明に説得力がある。</p> <p>F評価・作品の提出が出来ていない。</p>
教科書	なし
参考図書	適宜紹介
備考	